

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	IPMN に対する連続膵液細胞診の有用性と安全性
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	消化器内科 医長 寺田修三
研究期間	2018 年 10 月 ～ 2020 年 10 月
対象者	2010 年 1 月より 2017 年 1 月までの 7 年間に当院で IPMN（膵管内乳頭粘液性腫瘍）に対して連続膵液細胞診をされた患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	IPMN の良悪性診断は画像診断が中心ですが、その診断能には限界があることも指摘されており、術前病理診断のために膵液細胞診が行われております。しかし、膵液細胞診は感度が低く、ERCP 後膵炎の合併が多いことが問題とされています。当院では EUS（超音波内視鏡検査）を含む画像診断にて良悪性の鑑別が困難な IPMN に対して精査を行っており、多くの検体を採取し感度を高めることを目指して経鼻膵管ドレナージチューブを用いた連続膵液細胞診を行ってきました。この検査法の有効性と安全性について検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別など）、 IPMN の診断日、連続膵液細胞診施行日、最終生存確認日、連続膵液細胞診直前の CT,MRI,EUS 所見、連続膵液細胞診施行後の合併症の有無と血液検査所見、手術例については手術日と病理結果、最新の CT,MRI,EUS 所見
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。

静岡県立総合病院 消化器内科 医長 寺田修三 代表 054-247-6111
